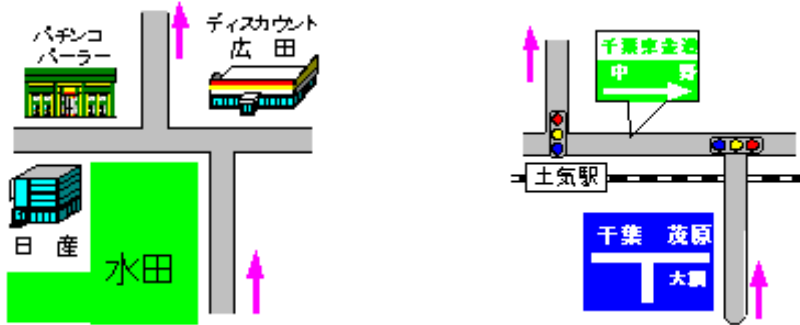


ご存じですか？変則十字路口

1. 変則十字路口とは

(1) 道路案内図に見える変則十字路口



(2) 別の呼び方

「変則交差点」、「食違い十字路口」

2. 変則十字路の実情

(1) 身近に見える変則十字路口 (皆野町)

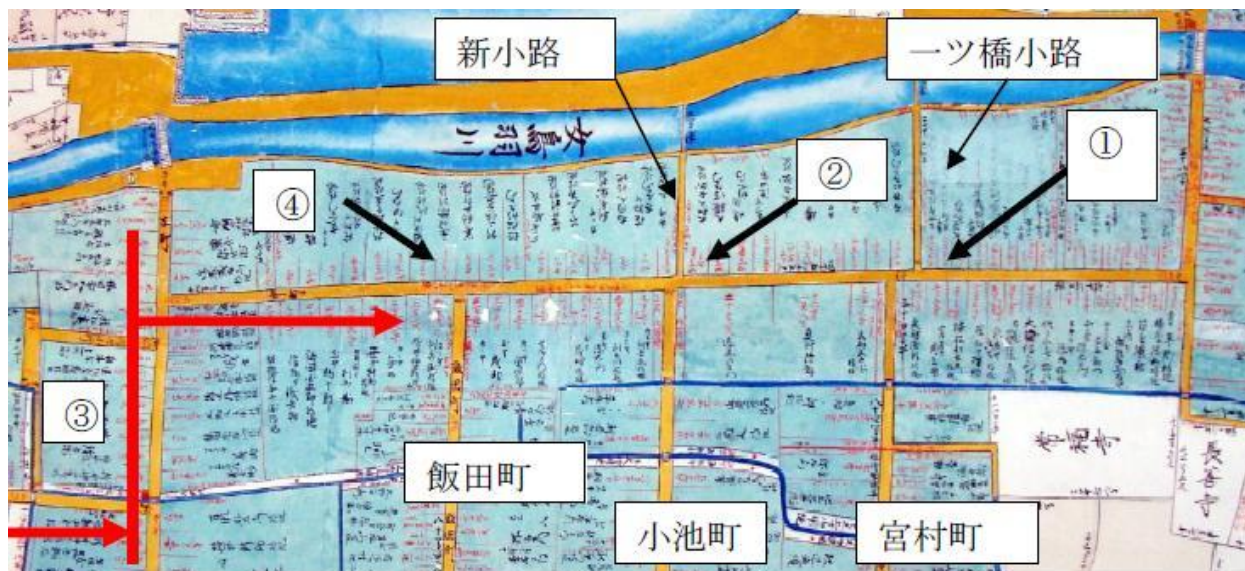


(2) 身近に見える変則十字路口 (秩父市)



(3) 城下町に多く残る変則十字路

<http://www.oshiro-m.org/tanbou/20091119.pdf>



①は宮村町と中町が交差する箇所ですが一ツ橋小路は少しずれて道が付けられています。小池町方面から進んできた敵は道がずれていますから前方が見えません。さらに道幅が一ツ橋小路の方は2間と狭く造られています。現在自動車は一方通行になっており十分な注意が必要な所です。

②の所は小池町が中町と交差し新小路が少しずれて付けられて、食い違いになっておりますが、この箇所は城下町が造られた当初は新小路がなく丁字路となっておりました。信府統記によりますとこの中町新小路は「中町孫四郎願いにて屋敷の内を小路として肴さかな店とするなり」とあり、後からつくられたことがわかります。したがって城下町の縄張りの中で計画された食い違いでは無いことを知っておきたいものです。

(4) 鎌倉古道の変則十字路

<http://homepage2.nifty.com/katohjuk/kodoindex.htm>

鎌倉古道はT字路の交差点に造り、Y字の交差点はない。・・・やむを得ずY字にぶつかる所では、その手前で道を曲げてT字路に造っている。(最近の交差点はそう造り替えているので歴史は繰り返される。)今でも時々Y字路の手前にT字路もあり、三角の無用地が面影を残しているのは、鎌倉期のT字路で曲らず近回りのため真っ直ぐ通ってしまったからであろう。なお、鎌倉古道には十字路もない。十字路になるところは、同様の理由で必ず一方をずらしている・・・

(5) 海外に見える変則十字路（発展途上国）

http://www.apa-info.com/gt_simpang_empat.html



ウブド（インドネシア）を歩いていて、面白いことに気づく。十字路がないのだ。

村道が拡張されて十字路になった道もあることはあるが、ほとんどが少しずれているかT字路だ。

直進しかできない悪霊を迷わすために、意図的に造られているという。

突き当たる場所には、必ず祠が建っている

はず。バリの一般家庭の屋敷門をくぐると、正面に背の低い壁・アリンアリン（Aling-Aling）があるが、これも悪霊避けだ。

ウブドの変則十字路やT字路で、供物を捧げる姿を見かけることがあるが、彼らは、この場所に悪霊がたまっていると考えからだろうか。

(6) 海外に見える変則十字路（米国ボストン）

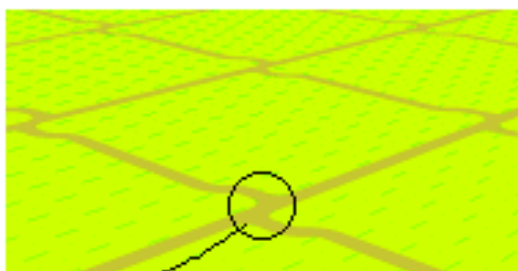
<http://www.ogis-ri.co.jp/otc/hiroba/others/OORing/interview29.html>

・・・それからボストンでひどい思いをするのは車の運転ですね。ボストン周辺には綺麗に直角に交わる十字路が少なく、大抵何か変則的なものになっています。・・・

(7) 海外（米国の田園地帯）で新たに作られる変則十字路

<http://hint-eng.jp/jdy07317/2050.html>

「食い違い交差点」の図

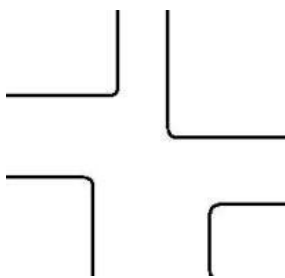


食い違いの交差点

田園地帯の先進国アメリカでは何かいい手はないかと飛行機の下をのぞいているとおもしろい風景に出会いました。その田園地帯の道路は基本的に格子状になっているのですが、交差点ごとに十字交差をなくすよう形状が食い違い交差点になっているのです。片方の道路はまっすぐいけるのですが、もう片方は必ずT字型交差になっているので、とまらざるを得ないのです。

(8) とある町で

<http://yaplog.jp/ginntenn/archive/211>



今夜は京浜急行 糺谷駅（こうじやえき） 糺谷商店街に来てみました。……。ウラ通りに入っていくと変則十字路がいたるところにあります。ちゃんとかrossしていません。ちょっとずれて交差しています。道幅もバラバラです。ちょこっとだけガードレールがあったりします。ここも変則具合がスゴイ！ちょっと説明しにくいので左記の図をご覧ください。道幅は違うは交差点はズレているはで、本当に

テキトーです。用地買収が上手くいかなかったのでしょうか？

しかし、変則十字路のため皆が注意して通るので逆に安全かも？

(9) カルカッタ（コルカタ）散策

<http://tkitasan.exblog.jp/14422817/>

後記：サダルストリートはカルカッターの目抜き通りのチョーロンギー大通りと、それと平行に一筋東側を走るフリースクール通りを結んで東西に伸びる、長さが五百メートルにも満たないせせこましく埃っぽい裏道である。上記の話の四辻はこのサダルストリート
をチョーロンギー大通り側からちょうど三百メートルほど東に入った、フリースクール
通り寄りに位置する十字路である。この地点で南から来るトーティ小路と、北から来るハ
ートフォード小路とがサダルストリートを介して合流しており、南北の道と東西の道とがこ
こで交差しているのである。サダルストリートに南側からあるいは北側から繋がる道は他
にも何本かあるが、阿弥陀籤の横筋のように互いに大きくずれていて十字路になっている
のはこの四辻の他にはない。ただし、この二つの小路も道幅がニューマーケット前の広
場に通じているハートフォード小路の方がずっと狭く、カーブのある道になっていて、合
流点の位置も僅かながら互いにずれており、一直線には繋がっていない。従って、四辻と
言っても正確には十字形に交わっている四辻とは言えず、路地が歪に交わっている筋違い
十字路とでも言うべき変則的な交差点であった。

(10) 野山とバイクと釣りと戯言

http://kurousagi1998.seesaa.net/pages/user/m/article?article_id=130268247&page=3

林道は変則的な十字路になっており、画像右側、
蛾眉野（がびの）林道へ入ります。



3. 変則十字路が作られる理由

(1) 鍵型道路（鍵の手）との違い



松本の城下町では鍵型道路は「鍵の手」と呼ばれています。一番典型的なのが①袋町の「かぎの手」です。

松本城下に入った善光寺道は本町を北上し、中町へ直角に曲がり東進して更に北側に曲がって大橋を渡り東町を北に進みます。途中に絵図のよ

うなかぎの手が設けられています。善光寺街道は更に矢印②のように屈曲して安原町。萩町へと抜けていきます。

この様に昔の土蔵などの錠前を開ける鍵の形に似ているので「かぎの手」と呼ばれています。この箇所では直角に2回曲がらねばならないので進行が遅くなります。そこを待ち受けて攻撃を仕掛けることが容易になります。

クランク状の道路は前方を遮断して遠見がききません。戦略道路としての役割を十分に備えているといえます。

(2) 真の目的(1)

鎌倉古道はT字路の交差点に造り、Y字の交差点はない。Y字だとYに合流する先へ向かう馬同士が衝突する恐れがある。T字路に造れば、突き当たる側の馬が六尺幅しかない道の先に背丈ほどもある萱や雑木の藪が繁っているので、自然に一時停止をするからだ。やむを得ずY字にぶつかる所では、その手前で道を曲げてT字路に造っている。(最近の交差点はそう造り替えているので歴史は繰り返される。)今でも時々Y字路の手前にT字路もあり、三角の無用地が面影を残しているのは、鎌倉期のT字路で曲らず近回りのため真っ直ぐ通ってしまったからであろう。

なお、鎌倉古道には十字路もない。十字路になるところは、同様の理由で必ず一方をずらしているので、@塾長は「喰い違いの十字路」と呼んでいる。

(3) 真の目的(2)

田園地帯の先進国アメリカでは何かいい手はないかと飛行機の下をのぞいてみるとおもしろい風景に出会いました。その田園地帯の道路は基本的に格子状になっているのですが、交差点ごとに十字交差をなくすよう形状が食い違い交差点になっているのです。片方の道路はまっすぐいけるのですが、もう片方は必ずT字型交差になっているので、とまらざるを得ないのです。これぐらい徹底しないと事故は減りません。都市部では用地の確保が大変ですが、地方部では現実的でしょう。

出会い頭の事故が少ない「安全」な十字路の条件は、進入することが「安心」な十字路でしょう。「危ない！危ない！」と、警告する前に安心の工夫を。

(4) ロータリー交差点

ロータリー交差点（ロータリーこうさてん）とは、交差点の一種で、中心の"島"の一方向に周回する方式のものです。ロータリー交差点は、構造上、直交する交通が無く、T字型交差点を円周状に並べたものと見做すことができます。通常、信号は設置されておらず、ロータリーに進入する車両は安全を確認して進入します。

日本では鉄道駅の駅前広場に設置する例が多く、日本の主要道路では設置例が少ないですが、かつて、明治から大正時代にかけて、都心の交差点に数多く設置されていたようです。信号型交差点に比べ交通容量が小さいため、交通量の大きい交差点では採用しづらく、一気に撤去が進んだようです。

藤田市のロータリー交差点の構造



※進入口で一時的に停止、ロータリー内の車が優先。
ロータリー内は時計回りで、どの道路にも
出られる



4. まとめ

- (1) 交差点の形と安全性・見え方の関係は次のように考えられます。
 1. 人馬の本性に合致した交差点の基本型はT字交差点である。
 2. 対向するT字交差点が近い距離にあるときに**変則十字路**に見える。
 3. その距離が少ないと危険な十字交差点になる(※)ので厳しく避けられてきたが、信号機などの補助手段が開発されたことで、辛うじて許容されるようになった。
- (2) 昔からある赤道(あかみち、里道)は、上の理由で**必ず食違いになる**ように交差しています。
- (3) 変則十字路の意味を理解している人々は、「**変則**」という言葉嫌い、「食違い十字路」または「食違い交差点」と呼んでいます。
- (4) 現代的(自動車社会)に見ると、変則十字路は交通渋滞の大きな原因として嫌われています。しかし、歴史的(信号機が無い時代)あるいは地理的(信号機が設置できない場所)条件下では、変則十字路こそ人馬の本性に合致した、合理的な手法なのです。
- (5) そう考えると、変則十字路は、あたかも子供に意見をしている母親(子供に役立っているのに、その子供から迷惑がられる)のように見え、可哀そうに思えます。皆様もそう思いませんか。

(※) これを考慮しない道路では、「十勝型事故」、「田園型事故」、栃木県では「芳賀型事故」と呼ばれる事故が多発しています。人馬でも同じ事故が起こると考えられます。

(補足) コルカタの道路図

